

日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード

第11 回改訂(JLAC11) (案)

1. コード運用の目的

検査項目およびそれに伴う検査結果についての分類を目的とする。

使用方法:主にデリバリーコードとして使用する。尚、施設内での運用は強要しない。

使用例:検査センター病院間、地域連携、データの2次利用など。

2. 方針

(1) JLAC11 は、JLAC10 と同様に分析物(5)識別(4)材料(3)測定法(3)結果(2)の 17 桁を基本とする。

(2) 一般検査名称“JLAC 一般検査名称”を設定する。

(3) 分析物コードの先頭をアルファベットとし符番する。

(4) JLAC 一般名称は、分析物、識別、材料の 12 桁とリンクする。

JLAC 一般名称を識別、材料、分析物とリンクすることで選択肢を限定し採番を容易にする。

* 測定法、結果に関してもリンク可能か否か検討する。

(5) 依頼と結果のコードを分けた設定を可能とする。

JLAC コードを依頼コードと報告コードの 2 種類の概念に分け、前者では末尾の識別コードを常に 00 とする。

(6) 機関独自の番号は一切用いない事とする。

必要な場合は、別途ローカルコードを作成し対応する事を推奨する。

3. 基本コード体系

「臨床検査項目分類コード(以下、「項目コード」という)」は6つの要素区分よりなり、それぞれ

(1) JLAC一般名称, (2)分析物コード, (3)識別コード, (4)材料コード, (5)測定法コード,

(6)結果識別コードと称する。

「項目コード」は基本的に分析物コードで分類を行い、材料、測定法等の付加コードとの組み合わせによって認識する。また、JLAC一般名称については、名称に関連した分析物コード、識別コード、材料コードが連結した関係をもって認識する。(測定法、結果識別に関してもリンクを検討する)

4. 各要素について(*については、今後の検討課題とする。)

1) JLAC 一般検査名称 (適用細則(案)別紙参照)

- ・JLAC 一般検査名称は、検体検査標準名称(案)をベースとする。
- ・一般的な「呼び名」を採用し、利用者に馴染みの多いものとする。
- ・システム運用を考慮し、全角 20 文字以内とする。
- ・設定は臨床検査項目コード委員会で行う。

(例:尿蛋白、血糖など)

2)分析物コード

- ・基本的には、分析物は測定対象物とする。
- ・1桁目をアルファベットとして JLAC10 との鑑別を可能とする。
- ・分類法 JLAC11 では、大分類:A~Z 中分類:1~9 残り3桁が番号とする。
- ・セットコード(血算、尿一般など)に対する結果項目は、個別の分析物コードを設定する。
- *分類・粒度についての検討が必要である。
- *セットコードの符番について

3)識別コード

- ・分析物コードと連結して JLAC 一般検査名称とリンクする。
- ・JLAC10 の識別コード+結果固有コードの役割を果たす。
- ・必要に応じて新たな要素を追加する。(例:腫瘍マーカーなどに限定して試薬名など)
- ・共通識別と固有識別コードを想定した。

◎共通識別(案)

8000~8999 まで、定性・半定量・定量など

9000~9999 まで 試薬メーカーや測定機器名

固有識別(案)

0001~8999 まで 固有の結果コード

- *上記内容であれば、4桁では余裕があるので、有効な使い方を考える。

4)材料コード

- ・符番は一連とするが JLAC 一般検査名称と関連する材料とリンクさせる。
- ・要素は、なるべく単純な項目とする。
- ・JLAC10 と異なるコードとし、新設する。
1桁目はアルファベットとし JLAC10 と区別する。

5)測定法コード

- ・頻用コード表および日臨技サーベイの測定法分類を基として検査項目ごとに、測定方法を選定した。
- ・コードの集約など検討の余地がある。
- *測定法の粒度・選定については、専門家による見直しが必要である。
- *JLAC 一般名称とのリンクを検討する。
- *1桁目はアルファベットとし JLAC10 と区別する。

6)結果識別コード

- ・測定単位をコード化し、識別コードや測定法コードでの分類不能な検査結果に対応する。
- ・結果識別は、分析物にリンクしたコードとする。
- ・結果固有コードの流用も検討する。
- ・JLAC コードを依頼コードと報告コードの2種類の概念に分け、前者では末尾の識別コードを常に00とする。
- *検査項目が固有識別と共通識別の両方を持つ場合があるので、識別コード結果識別コードの関係を検討する必要がある。
- *測定単位についての網羅する必要がある。

◎識別コードについて ・基本的には、分析物は測定対象物とする。

考え方1 ・検査種別ごとにまとめる

分野	分析物名称	分析物コード
尿一般	比重	A1010
	pH	A1015
	尿蛋白	A1020
	尿糖	A1025
	尿ウロビリノーゲン	A1030
	尿ビリルビン	A1035
	尿ケトン体	A1040

分析物名	JLAC10	標準名称(JLAC名称案)	分析物名	JLAC11	識別
比重[尿]	1A030	尿比重	比重	A1010	
pH[尿]	1A035	尿pH	pH	A1015	
蛋白定性[尿]	1A010	尿蛋白定性	尿蛋白	A1020	定性
蛋白定量[尿]	1A015	尿蛋白定量	尿蛋白	A1020	定量
糖定性[尿]	1A020	尿糖定性	尿糖	A1025	定性
糖定量[尿]	1A025	尿糖定量	尿糖	A1025	定量
ウロビリノーゲン定性[尿]	1A040	尿ウロビリノーゲン定性	尿ウロビリノーゲン	A1030	定性
ビリルビン定性[尿]	1A055	尿ビリルビン定性	尿ビリルビン	A1035	定性
ケトン体定性[尿]	1A060	尿ケトン体定性	尿ケトン体	A1040	定性

考え方2・測定対象物ごとにまとめる。

分野	JLAC11分析物名称	分析物コード
尿一般	比重	A1010
	pH	A1015
	ウロビリノーゲン	A1030
	ケトン体	A1040
蛋白	総蛋白	C1010
	アルブミン	C1015
糖	グルコース	C4010
	グリコアルブミン	C4030
	グリコヘモグロビンA1c	C4025
酵素系	AST	C2020
	ALT	C2030
	アルカリフォスファターゼ	C2050
生体色素	総ビリルビン	D1010
	直接ビリルビン	D1015
	間接ビリルビン	D1020

JLAC10	JLAC10	JLAC一般名称	分析物名	JLAC11	識別	材料
蛋白定性[尿]	1A010	尿蛋白定性	総蛋白	C1010	定性	尿
蛋白定量[尿]	1A015	尿蛋白定量	総蛋白	C1010	定量	尿
糖定性[尿]	1A020	尿糖定性	グルコース	C4010	定性	尿
糖定量[尿]	1A025	尿糖定量	グルコース	C4010	定量	尿
比重[尿]	1A030	尿比重	比重	A1010	0000	尿
pH[尿]	1A035	尿pH	pH	A1015	0000	尿
ウロビリノーゲン定性[尿]	1A040	尿ウロビリノーゲン定性	ウロビリノーゲン	A1030	定性	尿
ウロビリノーゲン定量[尿]	1A045	尿ウロビリノーゲン定量	ウロビリノーゲン	A1030	定量	尿
ビリルビン定性[尿]	1A055	尿ビリルビン定性	総ビリルビン	D1010	定性	尿
ケトン体定性[尿]	1A060	尿ケトン体定性	ケトン体	A1040	定性	尿

JLAC11コード例(イメージ)

符番したコードは参考として下さい。

材料、測定法、結果については、符番ルールの検討中です

1.一般検査およびセットコードの使用例

標準名称 (JLAC名称案)	JLAC11分析物	識別	識別コード	材料	測定方法	結果単位
尿一般検査						
尿一般定性検査	A1000		0000	尿	試験紙法	依頼
尿比重	A1010		0000		試験紙法(機械読み取り)	判定
尿pH	A1015		0000		屈折法(比重)	比重
尿蛋白定性	A1020		0000		二波長反射光測定法	pH
尿糖定性	A1025		0000			
尿ウロビリノゲン定性	A1030		0000			
尿ビリルビン定性	A1035		0000			
尿ケトン体定性	A1040		0000			
尿潜血反応	A1045		0000			
尿細菌数	A1050		0000			
尿白血球エステラーゼ	A1055		0000			
尿糖定量	A1025	定量	8001	尿	グルコキナーゼ法	mg/dL
尿糖一日量		半定量	8002	蓄尿	HK法(ヘキソキナーゼ)UV	mg/day
					GOD法(ブドウ糖酸化酵素比)	判定
					試験紙法	

2. 血液検査のコード使用例

標準名称 (JLAC名称案)	JLAC11分析物	識別	識別コード	材料	測定方法	結果単位
血算						
末梢血液一般検査	B1000		0000	全血(添加物入り)	自動血球測定法	依頼
赤血球数(RBC)	B1010		0000		計算盤法	/μL
白血球数(WBC)	B1015		0000			X10000/μL
ヘモグロビン(Hb)	B1020		0000			X1000/μL
ヘマトクリット(Ht)	B1025		0000			X100/μL
平均赤血球容積(MCV)	B1030		0000			g/dL
平均赤血球ヘモグロビン量(MCH)	B1035		0000			%
平均赤血球ヘモグロビン濃度(MCHC)	B1040		0000			fL
血小板数(Plt)	B1045		0000			pg
網状赤血球数	B1050		0000	全血(添加物入り)	Brecher法	‰
				血液塗抹標本	血液フローサイト法	%
末梢血液像(器械法)	B1060		0000	血液塗抹標本	自動血球測定法	%
好中球	B1060	好中球	0046		血液フローサイト法	#
好酸球	B1060	好酸球	0049			
好塩基球	B1060	好塩基球	0050			
単球	B1060	単球	0051			
リンパ球	B1060	リンパ球	0052			
その他	B1060	その他	0072			

2. 凝固検査の使用例

血液凝固検査						
プロトロンビン時間 (PT)	B2010		0000	血漿	凝固時間測定法	秒
	B2010	ドライヘマトPT	9101			%
	B2010	トロンボチェックPT	9102			
	B2010	トロンボチェックPT プラス	9103			
	B2010	コアグピニアPT-N	9104			
	B2010	トロンボレルS	9105			
		被検PT時間	0001			
		対照PT時間	0002			
		PT活性値	0003			
		PT比	0004			
		PT-INR	0005			

3. 生化学検査および識別コード(個別)の使用例

標準名称 (JLAC名称案)	AC11分析	識別	識別コード	材料	測定方法	結果単位
生化学検査						
総蛋白	C1010		0000	血清	Biuret法	g/dL
アルブミン	C1015		0000	血清	ネフェロメトリー	mg/dL
尿アルブミン	C1015		0000	尿	免疫比濁法	mg/L
A/G比	C1020		0000	血清	計算法	
蛋白分画	C1025		0000	血清	セルロースアセテート膜電気泳動法	%
アルブミン分画	C1025	アルブミン分画	0001			
a1グロブリン分画	C1025	a1グロブリン分画	0002			
a2グロブリン分画	C1025	a2グロブリン分画	0003			
bグロブリン分画	C1025	bグロブリン分画	0004			
gグロブリン分画	C1025	gグロブリン分画	0005			
M分画	C1025	M分画	0006			
分画A/G比	C1025	分画A/G比	0007			
クレアチンキナーゼ (CK)	C2010		0000	血清	JSCC標準化対応法	U/L
					IFCC標準化対応法	
					GSCC標準化対応法	
					クレアチン酸・UV法 (Wrosalki変法)	
CK-MB	C2015		0000	血清	CLIA	ng/mL
					ECLIA	μg/dL
					免疫阻止-UV法	U/L
					免疫阻害法	
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	C2020		0000	血清	JSCC標準化対応法	U/L
					IFCC標準化対応法	
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	C2030		0000	血清	JSCC標準化対応法	U/L
					IFCC標準化対応法	
乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)	C2040		0000	血清	JSCC標準化対応法	U/L
					GSCC/IFCC標準化対応法	
					SSCC標準化対応法	
					SFBC標準化対応法	
					Wroblewski-Ladue法	
アルカリホスファターゼ (ALP)	C2050		0000	血清	JSCC標準化対応法	U/L
					IFCC標準化対応法	
					SSCC標準化対応法	
					GSCC標準化対応法	
					MEG (メチルグルカミン) 緩衝液を用いる方法	

4. 腫瘍マーカーの(識別に試薬メーカーを使用した)例

標準名称(JLAC名称案)	JLAC11分析物	識別	識別コード	材料	測定方法	結果単位
腫瘍マーカー						
癌胎児性抗原 (CEA)	G1010	アボット(アーキテクト)	9001	血清	CLEIA	ng/mL
		ロッシュ(エクルーシス・コバス)	9002		CLIA	
		富士レビオ(ルミパルス)	9003		ECLIA	
		シーメンス(ACS/ケンタウルス)	9004			
		東ソー(AIA シリーズ)	9005			
		ベックマン・コールター	9006			
		その他	9099			
α-フェトプロテイン (AFP)	G1020	アボット(アーキテクト)	9001	血清	CLEIA	ng/mL
		ロッシュ(エクルーシス・コバス)	9002		CLIA	
		富士レビオ(ルミパルス)	9003		ECLIA	
		シーメンス(ACS/ケンタウルス)	9004			
		東ソー(AIA シリーズ)	9005			
		ベックマン・コールター	9006			
		その他	9099			
CA125	G1030	アボット(アーキテクト)	9001	血清	CLEIA	U/mL
		ロッシュ(エクルーシス・コバス)	9002		CLIA	
		富士レビオ(ルミパルス)	9003		ECLIA	
		シーメンス(ACS/ケンタウルス)	9004			
		東ソー(AIA シリーズ)	9005			
		ベックマン・コールター	9006			
		その他	9099			

◎識別・材料・測定方法のコード例(私案)

共通識別	識別コード	材料	材料コード	測定方法	測定法コード
個別コード	0001	尿	A01	尿一般	
	~	蓄尿	A04	試験紙法	001
個別コード	7999	便	A15	試験紙法(機械読み取り)	002
				屈折法(比重)	003
		全血	B18	二波長反射光測定法	004
定量	8001	全血(添加物入り)	B19	ヒコロール・レット法	010
半定量	8002	クエン酸血漿	B20	グルコキナーゼ法	011
定性	8003	血液塗抹標本	B34	尿沈渣	
				尿沈渣フローサイト法	021
		血清	C23	尿沈渣鏡検法(無染色)	022
アボット(アーキテクト)	9001	血漿	C22	尿沈渣鏡検法(その他染色)	023
ロッシュ(エクルーシス・コバス)	9002	除タンパク液	C31	便中検査	
富士レビオ(ルミパルス)	9003			積分球光度濁度法	050
シーメンス(ACS/ケンタウルス)	9004	髄液	D41	イムノクロマト法(的手法)	
東ソー(AIA シリーズ)	9005	胸水	D42	オルトリジン法	060
ベックマン・コールター	9006	腹水	D43	グアヤック法	061
和光(スフィアライト)	9007			血液検査	
協和メデックス(デタミナー)	9008			自動血球測定装置法	070
エーディア	9009	鼻腔ぬぐい液	G63	計算盤法	071
		咽頭ぬぐい液	G64	Brecher法	072
		角結膜ぬぐい液	G66	血液フローサイト法	075
その他	9999	その他	Z99	血液像鏡検法	076